

会長あいさつ

同窓会は新体制で 本格始動します



名古屋学院大学同窓会
会長
小川博司

秋涼の候、皆様には、ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より、同窓会運営にご支援ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

理事長あいさつ

母校の現況



名古屋学院大学
理事長
伊藤信義

同窓生の皆様、大学は2009年に創立45周年を迎え、創立45周年事業の一環として、名古屋キャンパス白鳥学舎南側に、学生のアメニティの場となる「翼館」とテニスコート西側にクラブハウス「友愛」を竣工させました。「翼館」は、学生に憩いの場を提供し、快適な学生生活が過ごせるよう設計されており、学生生活・支援のための学生支援推進センター、資格センター、キャリアセンター、保健センターなどの各種

去る、5月21日の代議員会において、理事任期満了に伴い改選を行いました。前年度理事の方々には、同窓会運営に多大なるご尽力をいただきましたこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

今年度も、11月14日(日)に「ホームカミングデー」を開催いたします。今年は、名古屋キャンパスに新築された新校舎「翼館」をご覧になって頂けることと思います。ご家族ご友人をお誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、これからは、新たに理事に就任された方々及び代議員の皆様方にご協力頂き、より良い同窓会にしたいと思っております。これまで以上にご支援とご協力をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

センターと500名規模のホール(クライシスホール)から成っています。

一方、瀬戸キャンパスにおいては、現在の人間健康学部を改組して、2010年4月からスポーツ健康学部とリハビリテーション学部が設置されました。瀬戸キャンパスは、2008年にラグビー場を全面人工芝に改修し、2009年には野球場に照明設備を設けるとともに、サッカー場に人工芝を張り周囲に陸上トラックを整備しました。そして2010年から2011年にかけては、室内プールの新設(2010年9月竣工)、クラブハウスの改修、健康センターの設置、合宿所「友愛」の改築を計画しております。このように、学校法人として、今後とも名古屋キャンパス、瀬戸キャンパスそれぞれの教育環境整備に努めていく次第です。

なお、学校法人は、皆様から教育研究振興資金募金を募っております。ホームページ等で別途ご案内いたしておりますので、同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。

GREETING

学長あいさつ

同窓生との交流と 教育改革に向けて



名古屋学院大学
学長
小嶋博

同窓会長をはじめとして役員の皆様の同窓会運営のご努力に深甚の敬意を表します。大学は、創立以来約3万8千人の卒業生を社会に送り出しました。2010年は瀬戸から名古屋へ移転して4年目を迎え、一層の飛躍のため、日々教育活動に専念して

おります。ご存知のとおり、10月には生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が名古屋で開催され、本学はサブイベント会場として施設を提供し、学生もCOP10ボランティアとして係わり、名古屋学院大学の存在が全世界に発信されます。また、地域の父母、企業、高校、同窓生に名古屋学院大学の現状を紹介し、大学の認知度を高めるとともに、受験生獲得、将来に向けて卒業生の支援・協力が得られるよう足固めをするため、昨年引き続き、9月に『名古屋学院大学フェア in 金沢』を開催いたしました。大学のさらなる発展にあたり、同窓生の皆様のコミュニケーションの場である同窓会との連携は必須であり、これからも大学に対するなお一層の支援をお願いしたいところです。

これまで大学は、文部科学省等の打ち出した4つのGP(特色GP、現代GP、学生支援GP、学生支援推進GP)を獲得、教育活動、学生支援活動において、愛知県の大で例を見ない、素晴らしい評価をいただいています。また、昨年導入した本学の教育の根幹をなす概念である「NGU教養スタンダード」は、大学における教育の改革を目指し導入されました。全学部が全学にわたる共通の教養科目群をカリキュラムに配置し、各学部がそれぞれの特色を生かした教育を展開しています。

今後も、同窓生の皆様の活躍とともに、大学も教育改革に向けて邁進してまいりますので、これからも本学の教育に対し、同窓生の皆様の深いご理解をいただきますよう、お願い申し上げます。